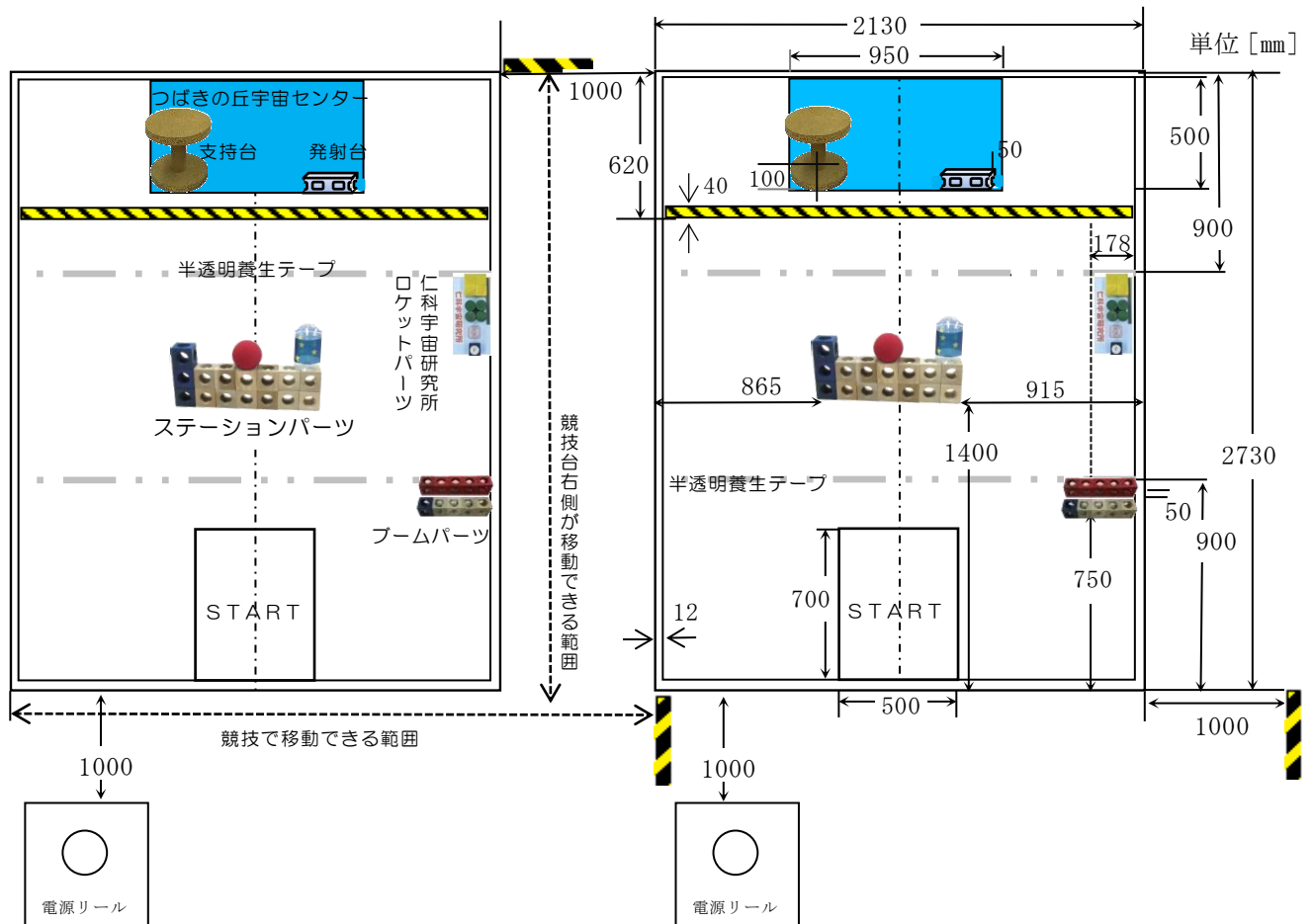


高等学校部門用競技台・アイテム・ゴールレイアウト

※競技台・アイテム・ゴールの寸法並びに配置については誤差が伴うことを考慮すること。

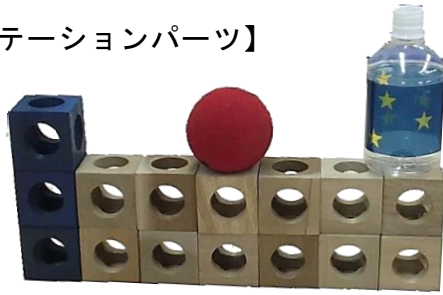
図1. 競技台寸法と競技開始時のアイテム・ゴールの配置



1. 競技台は、縦 2730 mm、横 2130 mm、厚さ 3 mm のベニヤ板製で、周囲は幅 12 mm、高さ 12 mm の木製の角材で囲まれている。
2. 競技台の平面は 3 枚のベニヤ板でできており、継ぎ目は半透明養生テープで覆っている。
3. 競技開始時のロボットの位置は、**START** で示す枠内である。
4. アイテムは、無色穴あきブロック 16 個、赤色穴あきブロック 5 個、青色穴あきブロック 5 個、黄色穴なしブロック 4 個、緑色円柱ブロック 4 個からなる 5 種類の木製のブロックとペットボトル 2 本 (A、B)、ピン球 1 個、赤スポンジボール 1 個からなっており、競技台上の 3 カ所に配置されている。
アイテムは図2のように「ステーションパーツ」「ブームパーツ」と仁科宇宙研究所に「ロケットパーツ」が 3 種類の積み方で置かれている。(配置は、図1 および図2 参照)
5. ピン球は青色穴あきブロックを台にして置かれている。
6. ブロックは木製である。(形と寸法は、図3 参照)
7. ゴールは、つばきの丘宇宙センター(青色の板)とその上に置かれた支持台(円形の台)は互いに固定されていないが、発射台(黄色の発砲スチロールブロック)は固定されている。(形と寸法は、図4 参照)
8. バリケードはアルミの角材で、表面に黄色と黒の虎模様を入れ、競技台に固定している。

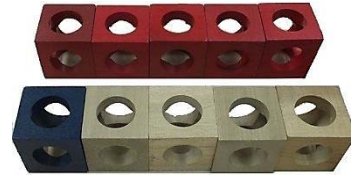
図2. アイテムの積み方

【ステーションパーツ】



スタートから見た積み方

【ブームパーツ】



スタートから見た積み方

【仁科宇宙研究所】

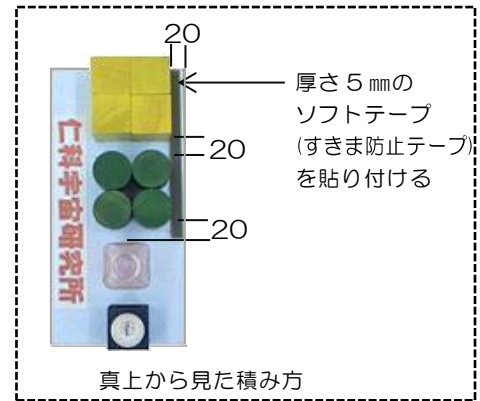
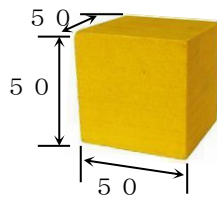


図3. アイテムの外形と寸法・重量

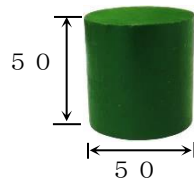
《1段ロケット》

黄色ブロック
(重量: 約 65 g)



《2段ロケット》

緑色円柱ブロック
(重量: 約 50 g)



《母船》

ペットボトルA
(約 19 g)



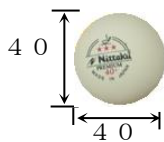
《補給機(こうのとりのとり)》

ペットボトルB
(約 25 g)



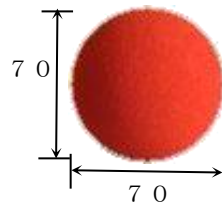
《着陸船》

ピン球
(重量: 約 3 g)
プラスチック製



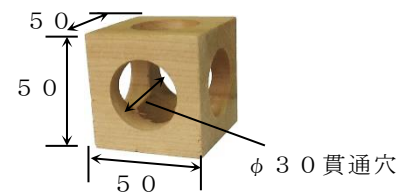
《国際宇宙ステーション》

赤色スポンジボール
(重量: 約 20 g)



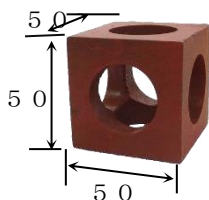
《ステーション・ブーム》

無色穴あきブロック
(重量: 約 35 g)



《ブーム》

赤色穴あきブロック
(重量: 約 35 g)



《ブーム台、ロケット台、空》

青色穴あきブロック
(重量: 約 35 g)

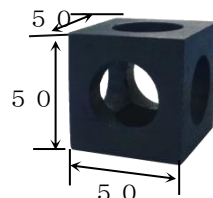


図4. ゴールと障害物の外形 単位〔mm〕

【つばきの丘宇宙センター】
(重量：4,700g)

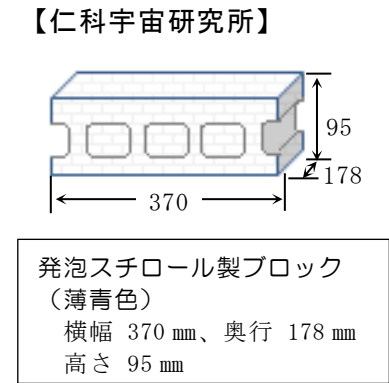
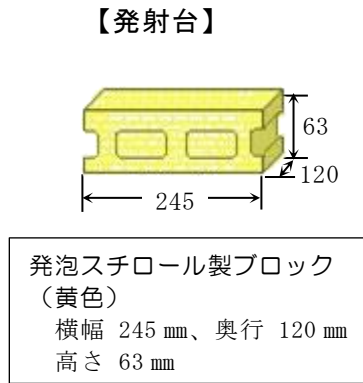
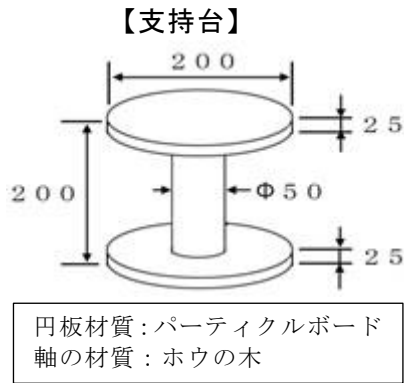


図5. バリケードの外形 (黄色に黒の縞模様) 単位〔mm〕



図6. 競技台外観図



ホームページにてご確認ください <http://www.kagaku.nishina.town.satosho.okayama.jp>

